

学位論文の要旨

専攻 社会文化学専攻

学生番号 75424107

氏名 山本恵美子 印

1 論文題目

看護師の正確な情報伝達に関する医療安全教育の検討

2 論文の要旨

医療の高度化・複雑化に伴う業務の増大により医療現場の疲弊が指摘されるなど医療のあり方が問われる時代となっている（厚生労働省, 2011）。また、質の高い医療を求める国民の権利意識の向上の変化を背景に、安全な医療に対して高い関心が寄せられている。

このような中、医療現場においては、多くの専門職が複雑で多様な業務を同時に進めることが求められており、多職種間協働を図ることにより医療の質を高め、効率的な医療サービスを提供する目的からチーム医療が推進される状況にある。しかし、エラーが連鎖して重大事故をもたらすといったチームの機能不全の指摘がなされている。こうした、チームエラーの多くは、ヒューマンエラーやコミュニケーションエラーによって引き起こされることが明らかとなっている。チームにおける情報伝達が滑らかに行われなければ、診療に関わる行為に支障をきたし、患者は危険にさらされることになると考えられる。コミュニケーションエラーを防ぐための正確な情報伝達がスキルとして教育可能であれば、看護学生が段階的にスキルを習得することにより、新人看護師に向けての準備が可能となり安全な医療の提供につながると考えられる。

しかし、それには、単に看護学生のコミュニケーションスキルを教育するだけでなく、臨床現場で看護師が実際に行っているコミュニケーションエラーを防止するための正確な情報伝達のスキルを明らかにすることが不可欠となる。看護基礎教育からのボトムアップ教育に注目するのではなく、臨床現場で有効なコミュニケーションスキルの解明に関する研究を進め、看護基礎教育と現任教育について研究を展望し発展させていきたい。

しかしながら、看護師間の正確な情報伝達を高めるコミュニケーションスキルに関する研究が十分に行われていない。

そこで、本研究では、まず看護教育制度の動向について整理し、看護教育制度における医療安全対策の現状を把握し、看護基礎教育における医療安全に関わるコミュニケーション教育について検討する。そして、臨床現場で行なわれる正確な情報伝達のスキルの解明と、看護基礎教育における教育課題を明らかにし、看護基礎教育と臨床現場をつなぐ段階的な教育への創造的可能性についても論じていく。

本研究は、第1 - 5章、研究Ⅰ - Ⅴにより構成されている。新人看護師の情報伝達を探るためのゲーミングシミュレーションの予備的試行を段階的に進めた質的調査（研究Ⅱ・Ⅲ）と、看護師を対象とした量的調査（研究Ⅳ）から構成される。次に看護学生を対象とした看護学生の介入実践研究（研究Ⅴ）を行い、その効果を検討する。

序章では、本研究の目的および意義を示し、本論分の枠組みを明確にする。第1章（研究Ⅰ）では、看護基礎教育における動向を整理し、今後、必要とされる看護師の医療安全教育について整理した。さらに、本研究にて扱う看護基礎教育における安全教育としての正確な情報伝達について整理し、介入における検討課題を示した。第2章（研究Ⅱ）では、防護のスイスチーズモデルに基づく連鎖事故発生のシミュレーションゲームを考案し、予備的試行を行い検討した。第3章では、研究Ⅱの課題で示された、職位が上位の者への確認行動を促す目的で、スキル学習を後続させ対象者を拡大して実施した。これらの結果から、一部ではあるが、臨床現場のスキルの活用が報告され、新人看護師の確認行動が、上位の職位であっても行動化を促すことが示された。

第4章では、第3章で得られた「曖昧指示による問題を防ぐ方法」を参考に、若手看護師の「指示の出し受けスキル」として、正確な情報伝達に向けたターゲット行動の抽出を目的に質問紙調査を行った。第5章（研究Ⅴ）では、第3章の調査で得られた「新人看護師の曖昧指示による問題を防ぐ方法」を参考に、看護学生の指示受けスキルSSTの教育プログラムの開発を行い指示受けスキルSSTの介入実践による効果を検証した。看護学生の指示受けスキルSSTでは、看護学生の確認行動は、看護師に質問するための思考を整理し、適切な言語に変換する力の育成が必要であることが明らかとなった。また、臨地実習での行動化は、練習したスキルの多くの項目は、有意な上昇を認めた。しかし、立ち止まっただの確認や自分の学習レベルを知らせるといった能動的な関わりについての項目は有意差がなく、単会の指示受けスキルSSTの実施では十分ではないことが示された。

これらの一連の研究から、看護師間の正確な情報伝達が段階的に構築可能である糸口が示された。若手看護師の指示の出し受けスキルが抽出されたことで、看護基礎教育における指示受けスキルの準備が可能となった。それにより、看護基礎教育において指示受けスキルSSTを行い、確認行動の発現を高めておくことで、やがて新人看護師となり上位の職位であっても先輩看護師への確認行動が可能となると推測される。これらは、チーム医療において、お互いを補完し、安全な医療の提供の一助となることが期待される。

（注） 2, 000 字程度にまとめること。